大和川と御幸橋

川合市場の街並み再現

昭和8年当時の銭湯で使用されていたロッカーと立札

はじめに

みなさんが生まれ育った、或いは、今、住んでおられる地域の“昔”はどのような様子であったかご存知ですか？

今回、このような素朴な問いに対して、私たちが生まれ育った河合町大字川合の市場地区にかかる昭和初期（約80年前）及び戦後まもなく（約60年前）の様子を再現しました。

かつては、大和川を利用した商業地域で、メイン通りには沢山のお店が並び、「銀座通り」と言われていたと聞いたことはありますが、「言葉」先行で、実際どこにどんなお店があったのかは、知りませんでした。

地元を愛する上で、その地域の歴史と伝統を次世代に伝えていくことは、重要な役割だと私たちは認識しており、その手段として、「言葉」から、「形」として残せるように川合市場にお住いで当時をよくご存知であるお二人の方から聞き取りをさせていただき、地図に記録し、当時と現在の写真を載せて再現してみました。

これを契機とし、教材など様々な活用に発展し、各地域を再現する機運が広がり、町や各種団体の事業としていくことで、町民の地域愛及び次世代に向けての郷土愛育成につながれば幸いです。

最後になりましたが、ご多忙のところ快く写真の提供などにご協力いただいた川合市場の皆様に対して心から御礼を申し上げます。

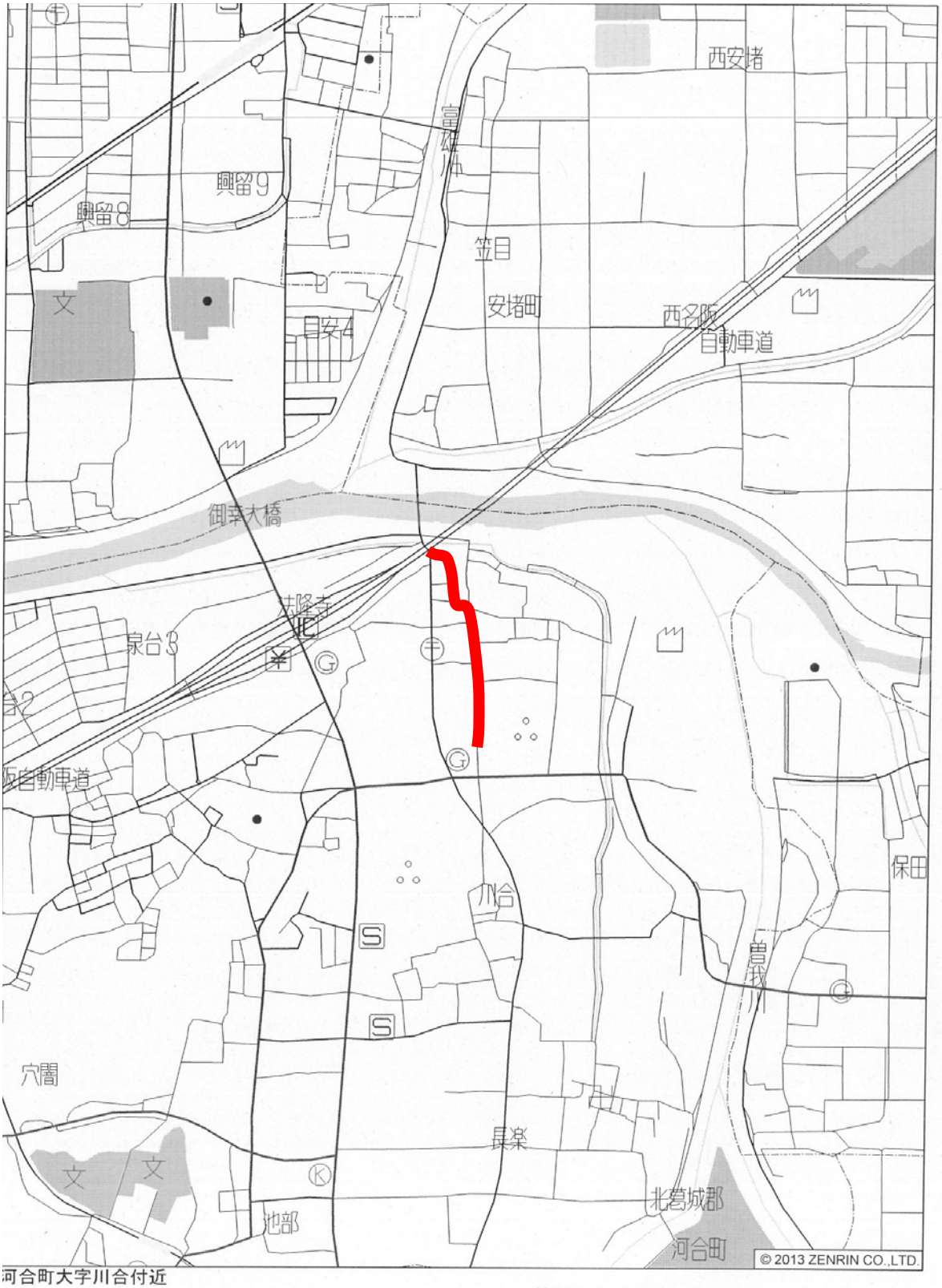
平成25年12月

河合町役場

総務部　政策調整課　岡田健太郎

教育部　教育総務課　松本武彦

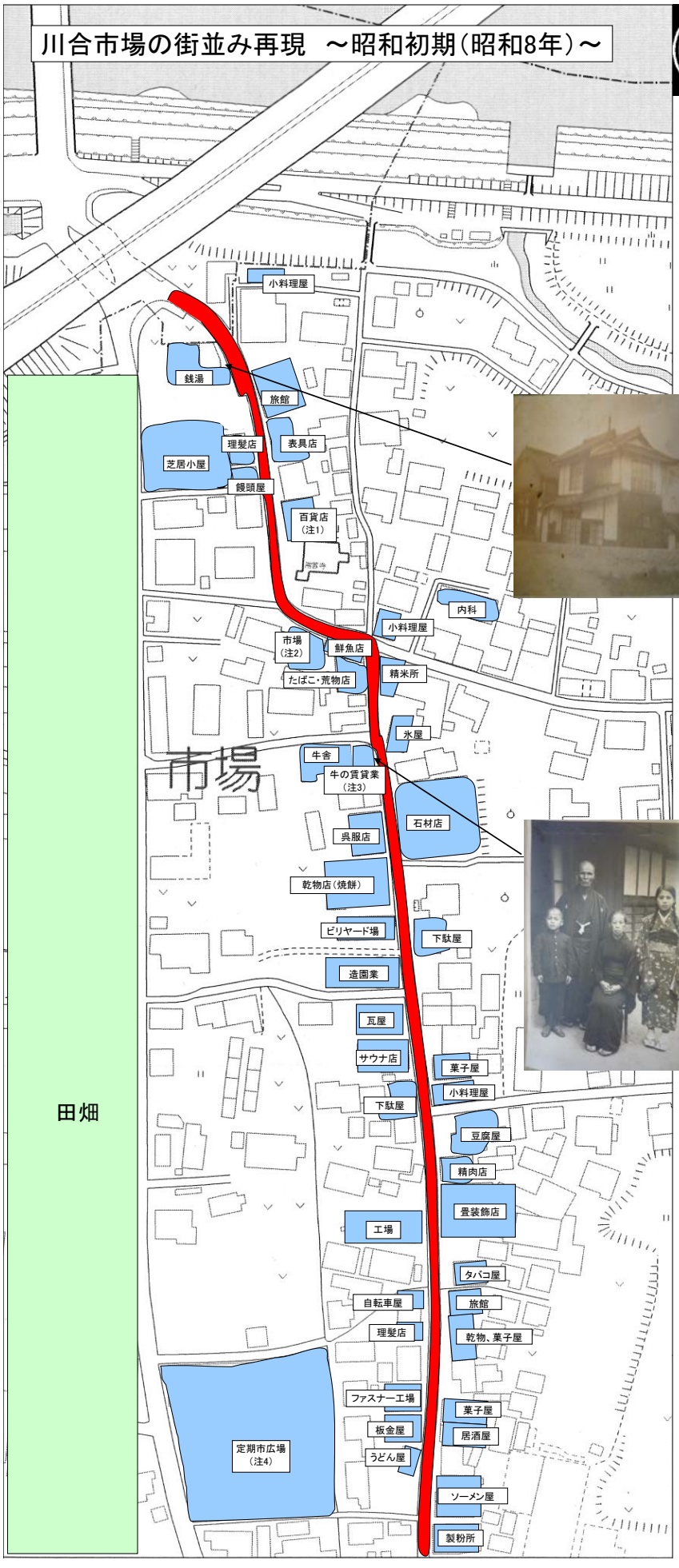
この地図上の赤で示した道路沿いを中心に川合市場の再現をしています。



河合町大字川合付近

縮尺 1 / 10,000　300m　平24情使、第332号

川合市場の街並み再現　～昭和初期（昭和8年）～



当時の出来事

【世界】
・ヒトラーが独首相就任
・フランクリンルーズベルトがニューディール政策実施
・メジャーリーグ初のオールスターゲーム開催
・キューバでバティスタが軍事クーデターを起こす

【日本】
・国際連盟脱退
・現（平成）天皇陛下誕生

【河合町】
・「川合城主吉田山城守義辰并一族墓」碑建立
（穴闇に石碑があります）

当時の川合市場の様子

・南北に走るメイン通りには、お菓子屋や、小料理屋が立ち並んでおり、子どもの数が多かったことや、仕事の後の楽しみの場があり活気がありました。
・旅館があったことで、地方から仕事や、旅行で来られていた方がいて、賑わっていました。
・道は砂利道で常に歩いて行動していました。
・当時の人々は、そこに住んでいる人々が互いに家族のような存在で、他人の子供でも悪いことをすれば怒るし、困っている人がいれば、進んで話しかけるような環境でした。
・産気づいた人がいる家庭では、道行く人に産婆さんを呼んでくれるよう頼むこともありました。

備考

・赤で示した通りのお店などを中心に再現しています。
・水色部分が当時、お店などをしていたところです。
・この地図は、皆さんがイメージしやすいように、現在の川合市場地区の地図を基に作成しております。
・大正10年生まれの川合市場在住の方から聞き取りをしました。

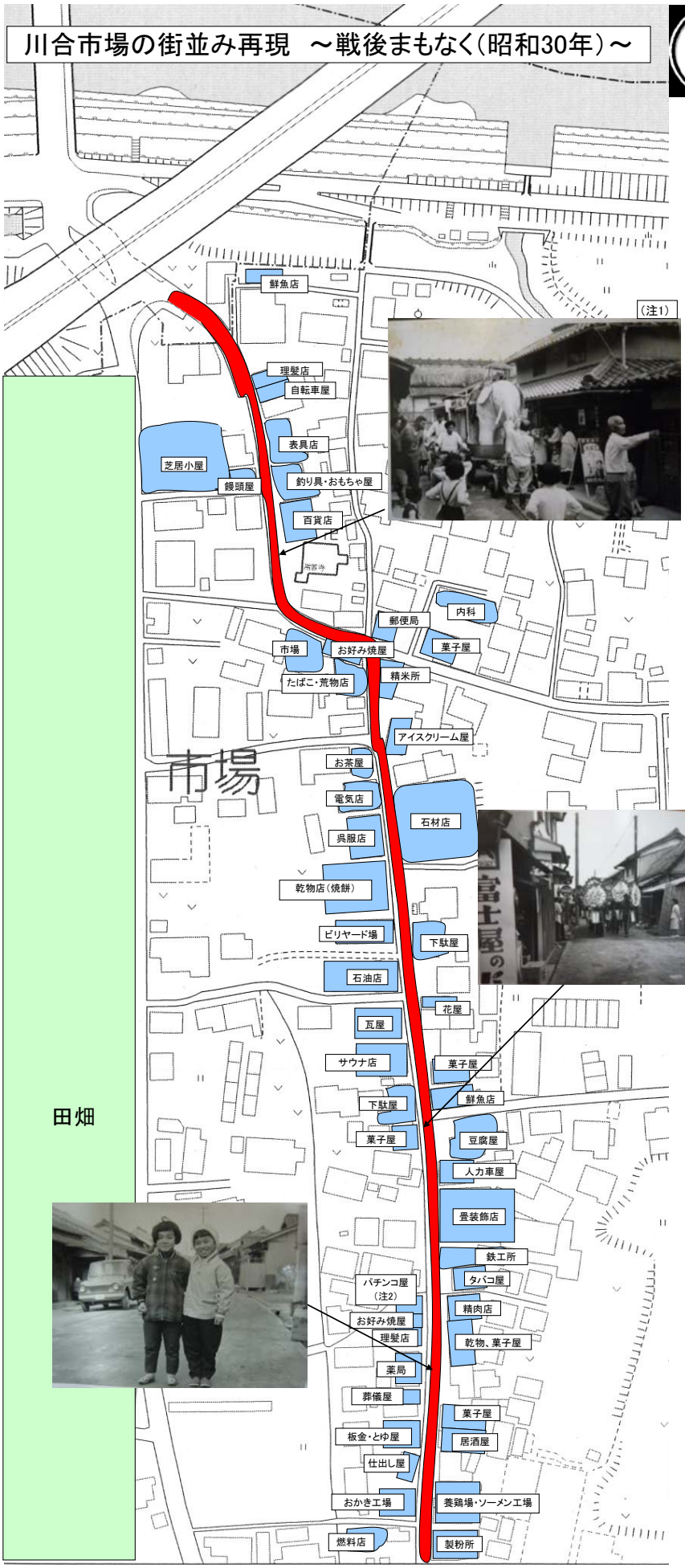
（注1）
百貨店とありますが、現在で言うところのコンビニエンスストアのような販売店です。

（注2）
大阪湾と奈良盆地を結ぶ重要な交通路であった大和川沿いには、御幸ヶ瀬（ごごがせ）と呼ばれる船着き場（現在の御幸橋付近）がありました。多くの物資や人が行き交うこの場所が、多いに賑わったことから「市場」と呼ばれるようになりました。

（注3）
当時は、牛を引かせて田畑を耕す方法であったため、その牛の賃貸業です。

（注4）
月に1度この場所で今で言う、フリーマーケットのような、催し物がありました。

川合市場の街並み再現　～戦後まもなく（昭和30年）～



（注1）

当時の出来事

【世界】
・アメリカのディズニーランド開園
・ソビエトを中心とした東ヨーロッパ諸国がワルシャワ条約機構を結成

【日本】
・第一回原水爆禁止世界大会を広島で開催
・森永ヒ素ミルク中毒事件が発覚
・日本が関税および貿易に関する一般協定（GATT）に正式加盟
・自由民主党と日本社会党の二大政党制（55年体制）
・高度経済成長の始期（神武景気）

【河合町】
・上村泰蔵、村長に就任（第１０代）…現町長は第１３代。

当時の川合市場の様子

・戦後10年ですが、昭和初期と比べて販売形態は変わっているものの、店数はほとんど変化がなく、戦中に大きな被害はありませんでした。
・秋祭りのたびに、威勢の良い商売人が多かった為（？）か、となりの城古地区と、ケンカが起こっていました。この当時から、広瀬神社に奉納する為にどちらの地区も通る道路に警察が配備してくれています。
（今は、もちろん、交通安全上の為です）
・現在では、担ぎ手が少ない為、秋祭りで出す太鼓台（約１トン）に台車を敷いて地域内を練り歩き、神社内で担ぐことになっていますが、当時は担ぎ手（若い世代）が多かった為、出発から最終までずっと担いでいました。
・道はこの当時も砂利道でしたが、移動手段は単車や、三輪自動車を利用していました。

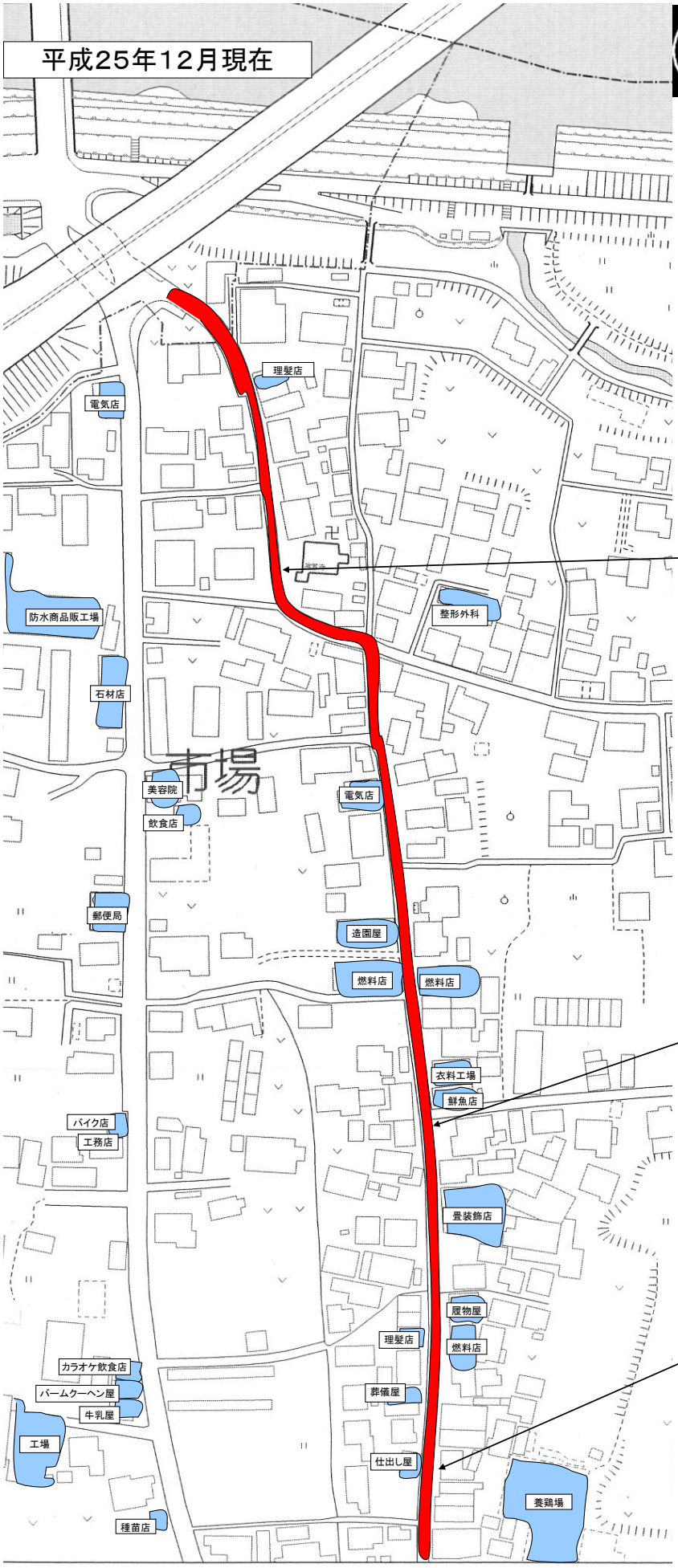
備考

・昭和18年生まれの川合市場在住の方から聞き取りをしました。

（注1）
この写真は、市場にあるお寺の住職が子ども達のために「花祭り」というお祭りを開催した時の風景です。象は住職の手作りだそうです。

（注2）
当時は手打ちパチンコが設置されていました。

〈当時の台ではないですが、形態はこのような物です〉



現在の川合市場の様子

・かつての商業地域とは違い、現在は住宅が多くなっています。
・少子高齢化が進んで、子どもの人数も少なくなっています。
・かつて、土手であったメイン道路（赤の部分）から西側に道路ができ、その道路沿いにお店が移行しています。
・昭和30年と現在の写真掲載場所は、ほぼ合せています。